

やっぱり、児童は 生き物さがしの天才だ！

三浦トピックス

第54号

自然教室の様子

(40)

発行者
清泉小学校
自然教室



ツチイナゴ



ナナフシ



オオヒラタシデムシ



サトキマダラヒカゲ



アメンボ

イメージが悪いですが、分解者として重要な働きをしています。沼では、大量のアメンボが蠢いていました。

49号で若葉の集いの時に低学年の児童が色々な昆虫を見つけてくれたことをお伝えしましたが、6年生も負けずかな時間に昆虫を見つけてきました。コムギ畑から飛び出してきたのは、ツチイナゴです。この時期に大きいので調べてみると、日本で唯一成虫のまま冬を越すそうです。男子たちは、ナナフシを見つけてきました。そこで、畑の奥のナナフシの木と言いつたところ案内すると、瞬間に何匹ものナナフシを見つけてくれました。刺激を受けて私も探してみると、昨年の生き物調査で教えてもらった昆虫を見つけました。一見すると蛾のように見えるのは、サトキマダラヒカゲで、ジャノメチョウの仲間です。きぼうの道でゴキブリと間違えそうなのは、オオヒラタシデムシです。死骸を食べるので、イメージが悪いですが、分解者として重要な働きをしています。沼では、大量のアメンボが蠢いていました。